

2017 第 1 回六甲健康保養地研究会 公開セミナー&交流会

「済州オルレの取り組み」

講師：社団法人済州オルレ日本支社長
李 唯美 (い ゆみ)



「オルレ」とは韓国・済州島で始まったトレッキングの名称で、「通りから家に通じる狭い路地」を意味する言葉です。2012年2月には、九州観光推進機構が済州島と提携し、4コースを開発し開始しました。現在(2017年5月時点)は、19コースあり、訪日韓国人団体客と個人客とを合わせて約10万人(2016年度)が九州オルレを楽しんでいます。そんな最新の現状について学びます。ぜひともご参加ください。

日 時 2017年8月20日(日) 15時00分~17時00分

場 所 神戸山手大学4号館 4303 教室 神戸市中央区諏訪山町3-1 電話 078-341-6060
(神戸市営バス⑦番「諏訪山公園下」下車・JR 元町駅から北へ徒歩10分)

定 員 30名

参加費 2,000円

主 催 六甲健康保養地研究会



済州オルレのタペでアン事務局長と

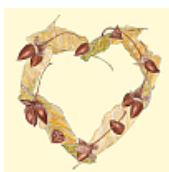


九州オルレ奥豊後コースにて

六甲健康保養地研究会について

六甲山を都市型でありながら自然の豊かな健康保養地エリアとして捉え、自然や森の力を利用した様々な療法の受け皿(森と施設)を、ドイツの自然保養療養地やクナイプ療法等の先進事例※も取り入れながら創設し、広く様々な形で利用してもらうことで、その効果を実感していただきたいと私達は思い描いています。この構想は、医療費の削減に結びつく予防医学的な視点はもちろん、神戸の新たな観光産業としての視点からも意義深いものと考え研究を行っています。

※例えば、ドイツ国内には、自然保養療養地が374箇所存在し、年間1000万人が訪れています。温泉や森林、山岳などの気候や地形、海岸で海洋性気候を用いたりしています。水療法で有名なクナイプ療法の発祥の地「パート・ウェーリスホーフェン」には、毎年100万人近い人が訪れています。それらには、社会健康保険が適用され、4年に一度3週間の保養を行うことが法的に認められています。



お申込み、お問い合わせは以下までお願いします。

六甲健康保養地研究会 <http://rokkokurort.net>

〒650-0004 神戸市中央区諏訪山町3-1

神戸山手大学 現代社会学部観光文化学科 西村研究室内

090-3861-5757(岡本) FAX078-330-1068 info@rokkokurort.net